2025 年 6 月 5 日

課題名：中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法の臨床転帰の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法の吸引カテーテルを遠位(M2)、可能であれば血栓近位端まで誘導する手術手技が治療成績と臨床転帰に与える影響を調べています。本研究では、吸引カテーテルを遠位に誘導する有用性の確立を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019 年 1 月から、2025 年 5 月までの間に、中大脳動脈 M2 閉塞に対して血栓回収療法を施行された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、手術施行日、術前の生活自立度、脳梗塞の重症度、既往歴、嗜好歴、搬送経路、閉塞血管、脳血管閉塞の病型、術前と術後の CT と MRI、血液検査所見、アルテプラーゼ投与の有無、使用したデバイス、複合手技の内容、手技の血管撮影所見、手技に関連する時間（手技前時間、手技時間、手技開始から有効再開通までの時間)、血栓回収療法の治療経過、合併症の有無、90 日後の生活自立度

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024 年 5 月 21 日以降

◆研究方法◆

本研究は、過去の診療録と画像所見からの情報を用いて実施します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
脳神経外科・脳卒中科　研究責任者　紀之定　昌則

E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明